

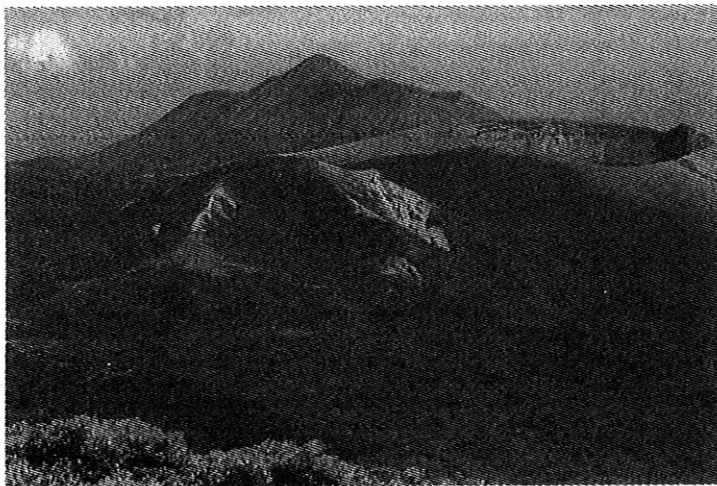
東京龍門会報

発行所
 神奈川県川崎市幸区 古川町50
 今村電機株式会社内
 電話 044 (522) 8266
 東京龍門会
 発行人
 今村 彬

平成9年度の総会は 母校百周年記念総会として

6月21日(土)

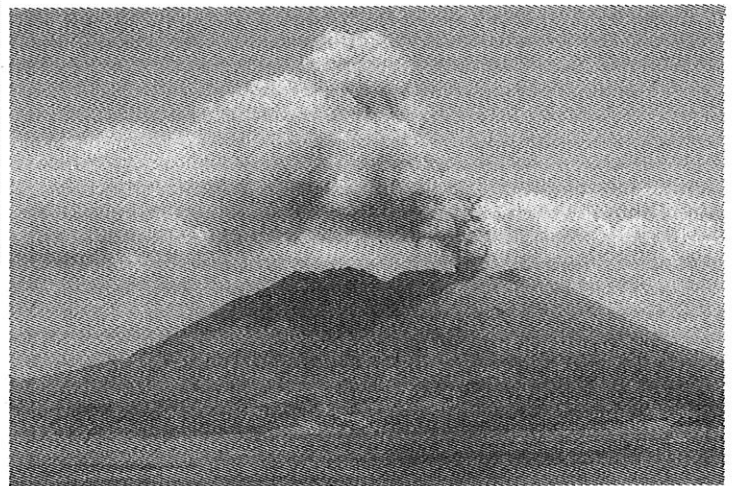
会場は三州クラブです



花は霧島

母校は100周年

燃えてあがるは桜島



平成9年度 東京龍門会総会のご案内

陽春の候 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 平成9年度の東京龍門会総会を、左記の通り開催することになりました。
 加治木高等学校校長並びに柚木同窓会々長をお迎えし、皆様と親しく懇談いたしたいと存じますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。
 なお準備の都合上六月十日までに同封のハガキにて必ずご回答くださいますようお願いいたします。

記

日 時 平成9年6月21日(土)

午後2時から自由懇談会

午後2時30分から総会

午後3時30分からパーティ

場 所 三州倶楽部(品川区上大崎1-20-27)

電話 03(三四四七)六七七六

JR目黒駅下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200米進み、高速道路の交差点を右折し、3本目の通りを左折、突当りです。
 (徒歩約10分)

会 費 パーティ費 男 子 六千円

女 子 五千円

年会費 二千元

平成九年四月吉日

東京龍門会々長

今村

彬

TEL 〇四四(五二二)八二六六

◎住所・職業その他に異動がありましたら、ご面倒でも同封のハガキでご通知ください。

総会にご参加を!!

東 京 龍 門 会 々 長 今 村 彬
(高・昭25卒)

今年には母校の百周年記念の年で、同窓会々館も完成の予定で、本部を含め27支部同窓会が益々充実した会になると思っています。

東京龍門会では平成八年度総会を五月十三日(土)、三州クラブで開催いたしました。堅山校長、柚木同窓会長、白浜伝元校長のご出席を頂き厚く御礼申し上げます。

校長より生徒の進学はもとより、活躍している学校の近況報告をいただき、また柚木同窓会長からは記念事業を成功させるために協力依頼と、亡くなられた前同窓会長新納先生の母校での特別講演で、伊丹明さんの話をされたのが最後であったとの事など、新納先生は東京龍門会総会でもNHK大河ドラマの「二つの祖国」伊丹明さんについて流暢な講演をして頂き今でも脳裏をはなれません。また同窓会長より法元六郎氏(中28回)自費製作による伊丹明さんの建立披露があり、法元六郎氏の御挨拶があった。
白浜伝元校長は百周年の実行委員会募金部長として、各

卒業年度目的達成のためにわざわざ参加され、各期の同窓生各位に目的達成の要請と協力を要請された。

去年は龍門会に於いて三つの大きな星を亡くしました。佐藤八郎元会長、新納教義前会長、続いて永年政界で活躍され東京龍門会でも大変お世話になった村山喜一元衆議院副議長のお3方が他界され、ここに謹んで御冥福をお祈り致します。

総会は平成七年度の収支決算と、八年度の子算案と事業計画案などが決議された。また母校百周年に東京龍門会か

母校の創立百周年に想う

立山 清治 (昭七中卒)

私が旧制中学校に入学したのは昭和二年四月で、同七年三月に五年生で卒業した。入学から算術計算すると今年で七十年になる。光陰矢の如しという通り、驚くほどの永い歳月が流れ去っている。このことは母校創立百周年という慶賀の年と考えあわせてみると、実に凄じい感じがする。この記念すべき式典の年に際し元気で迎えることの喜びと、記念すべき一 と同窓の皆様

らも寄付をする提案もあった。

二〇周年行事として、林家三平の弟子で、種子島出身の林家種平氏の落語が一席もたれ、若松元会長の元氣な乾杯の音頭で懇親会が始まり、有志の方々から頂いた、ふるりの焼酎、つけあげを肴になごやかな懇談が続ぎ、立山清治氏(中31回)の漢詩朗読があった。校歌三唱と三々手拍子でめでたて会を終了した。

なお平成九年度の総会は表記により開催の予定で、皆さんの参加をお待ちしております。



にお届けできることは私にとって三重の喜びである。

さて当時の中学生生活を追懐すると、校歌にもあるように質朴剛毅の校風が漲っていたように記憶し、それが先輩から後輩へと伝え継ぎられてきたのであった。学校行事で校歌を合唱するのは今も昔も同様だろうと思う。私は徒歩通学であった。その道すがら仲間との通学者と共に校歌を高唱し元氣を出して歩いた。通学で思い出されるのが路の悪さとその距離で、片道5キロメートルの砂利道と舗装の施し

てない凸凹道を歩いたわけ、

今では一寸想像もできない状況であった。そして在学五ヶ年間を一日も休んだことはなく、往復10キロという通学路を歩き通したのである。これだけは私の誇りの一つで、自慢に値するものと自負している。当時の世相からすれば徒歩通学、または自転車通学、汽車通学とそれぞれあったが、私は五ヶ年間を徒歩で通したのであった。現在の世相と比較するわけにはいかないが、世相の変遷によっていると云う事柄で片付く問題ではないのが、最近の金にまつわる事故事件である。そのことが毎日テレビや新聞で報道されて

いる。誠に慨嘆に堪えない。私は別に聖人君子でもなければ人に教えるという資格をもっているわけではない。しかし中学生の頃から良く教えこまれ、これだけは今日まで曲りなりにも守ってきた。それは即ち人として踏み行なうべき正しい道のことである。この正しい道は何時の世でも、何れの社会に於いても存在するものと信じている。人が守るべき正しい規範は中学在学中に啓発されたと思う。戦前の教育とか戦後の教育とか云う議論はさておいて、人倫の基本にあっては戦前と戦後もないものと信じる。

私が加治木中学で種々教育

賀 加治木高校創立百周年

その一

創立ノ春秋一百年

亭亭老樹古城ノ辺リ

春衿此ニ集テ兼ニ文武ヲ

学ビ道ヲ修メ身ヲ守リテ節ヲ堅シ

その二

龍門ノ瀑布ハ響キ千山ニ

噴ク火ヲ桜洲ハ映シ錦湾ニ

剛健ノ気風今尚有り

一 幾度カ耐ニキリ辛艱ニ

龍門の瀑布は千山に響き
火を噴く桜洲は錦湾に映じ
剛健の気風今尚有り
百年幾度か辛艱に耐えたり

された中で、最も感謝している中の一つが漢文であり漢字である。中国や日本の先人が詩を作ったのを読んだり鑑賞するのに、ある時は自分で詩を作るのにまた辞書を繙く場合に極めて役立っている。在学当時の感懐とか学校周辺の風光明媚な情景、そして時折帰郷したふる里のこと等を取りまぜて、母校創立百周年の記念になればと思いい右下のような七言絶句二首を作ってみた。同窓生のご笑覧をいただければ幸甚です。

母校の百周年によせて

松田浩太郎(高・昭27卒)

母校が創立百周年を迎える所です。私達は終戦の翌年昭和21年に50期生として、旧制中学最後の生徒として入学そして併設中学、新制高校と六年間を過ごした。高校の永い歴史の一つの節目に立会ったのだという感慨を禁じ得ません。今の若い人達には想像もつかないようなひもじい時代で、午前中四時限の二時限の休みの終わりに皆の弁当は空で、外地から引揚転入した生徒が正規の昼食時間と勘違いしたり、入ってこられた先生が一瞬後ずさりされる

といった事()のりしました。当時は予習を怠ると箸で頭を叩く先生や、よそ見をすると生徒のおでこに正確にチョークを飛ばす先生がおられた。ただこれらの先生達は「この連中鍛えればそこそこの物になる」と確信しておられた節があった。我々もその熱気に煽られて皆好き勝手に勉学に、運動にまた文化活動にと、六年間を精一杯に過ごしたような気がする。

第一生命選のサラリーマン

川柳に「平泳ぎ五十のターンで先が見え」というのがあった。私は五十の半ばを過ぎて突然針路を変え、会社員から公認会計士になった。スタンドから「そっちじゃないぞ」と云う声が聞こえるような気もしたが、人の生きざまは百人百様で良いのではないだろうか、今私なりに満足して泳ぎ切ろうとしており、一掻き一掻きの勇気の源となったのが、若き日の先生方の「皆気張れえ、へこたるとじゃなかどー」という叱咤激励の声だったように思う。高校卒業後間もなく私の一家は東京へ転居し、加治木に帰ることも少なく、母校の今の雰囲気を感じないが、わが母校ならば、今でも魂のエ

ールが飛び交う熱気溢れる薫陶の場であり、続けていることを信じて疑いません。
加治木高校よ、永遠なれ!

ミニ通信

○老人会では土曜日にカラオケのレッスンをしたり、野菜作りなどしています。日曜日はキリスト教会に行き、家ではピアノのレッスンをしています。
(女・大15卒 新原フミエ)

○久しぶりに皆さんと会えるので、総会への参加を楽しみにしていますが、手足が痺れ、字も書けませんが、若い頃あまり飲みすぎて糖尿病になり、病院にタクシーで行くのが日課です。
(中・昭2卒 中村政敏)

○わが同期生故佐藤八郎博士の医学界に於ける功績は国の認めるところ(叙勲2等)。すばらしい業績です。また母校に対する数々のご奉仕も頭の下がる思いです。この度法元氏により博士の胸像が出来る所ですが、すばらしいことと思えます。やがて母校の一隅より後輩に対して、無言の激励を賜わるものと喜びに堪えません。
(中・昭2卒 大八木敏夫)

○85才を目前にして足腰が弱くなり不自由しております。残念ながら総会には欠席しますが、会の発展とご盛會を祈ります。
(女・昭3卒 是枝登那美)

○一昨年心臓病のため3ヶ月入院、

今再して元気で老春を謳歌しています。会の発展を祈ります。
(中・昭7卒 川畑武清)

○「昔の虚弱者は老来却って強健者になった」との秘かに自負していました。喜寿を前にどうやら曲角に來たらしく、思わぬ病氣や検診で少々忙しく過しています。大いに改心したいと思えます。
(中・昭12卒 中馬義直)

○久しぶりに東京龍門会に出席させていただきます。小生創立百周年の募金部長で大変です。
(中・昭14卒 白濱 傳)

○椎間板ヘルニア症候群に陥り、残念ですが参加出来ません。昨年度会報の計報中の故長崎正人(中・昭15卒)は、私と同期で告別式にも参加しました。従って中・昭14卒が正しいと思えます。
(中・昭14卒 田中正壽)

○始良町出身の坂元茂君が他界され、旧重富・吉田出身の同級生は田中義侶(大阪在住)君と二人になってしまいい淋しい限りです。他の在京クラスメートは健在です。昨年四月に箱根で同期会を開きました。
(中・昭15卒 橋本藤任)

○「ミニ通信」いずれも面白く懐かしく拝読しました。特に印象に残ったのは「ケケケ」です。カゴツマを出て50有余年、いきなりケケとは何ぞやと聞かれても咄嗟に答えられなくなりました。嗚呼。
(中・昭15卒 柳 逸雄)

○老境に入った主人共々達者に過ぎしております。東京龍門会の繁栄と皆様のご健勝をお祈りします。
(女・昭16卒 瀬戸千鶴子)

○「内村鑑三と留岡幸助」の著書が近代文芸社より発刊されました。母校の図書館にも贈りました。ご希望の方はどうぞお読みください。
(中・昭18卒 恒益俊雄)

○私の学んだ時代は戦争の真っ只中でした。やがて史上もつともひどい21世紀?を迎えます。後輩の皆さん/世界に目を開いてしっかり研鑽を積んで下さい。
(中・昭19卒 川野 洋)

○平成7年9月、44期4年卒関東関西地区同期生14名は、50年前生死をかけた学徒動員先きの富山県福野に集合しました。そして福野町役場・町議会・工場側の絶大な協力を得て、旧軍需工場だった現「フアブリカトヤマ」と「日平トヤマ」を見学し、昔を偲び合い、宿舍では夜の更けるまで校歌を歌い、且つ涙しつつ語り明かしました。この事は新聞3社、雑誌2社、TV1社の協力で大きく報道されました。この企画の实地調査に羽田を出発したのが地下鉄サリン事件の日で、身分の証明も受けねばならず、多事多難の一年でしたが、無事に終了する事ができ幹事一同ホッとしています。福野町あげての暖かいおもてなしは、今でも忘れられませんが、その後も福野町より折りに触れての便りを頂いております。福野町は周辺の町を含めて行事・史跡・名物等もありますので、観光も兼ねてお出掛け下さると幸せです。
(中・昭20卒 上園 悟)

○会いたい人は沢山いますが、20年前より体調を悪くし、いつも総

会には欠席ばかりでガツカイ、イケモナラジ、コエコツチャ、ミンナサーもお元気で。

(中・昭20卒 村田 実)

○毎週一回旧丸の内都庁舎に行っています。帰路「かごしま遊楽館」で「ユベシ」を買うのを楽しみにしています。

(中・昭20卒 吉尾政廣)

○帰鹿の度に蔵王岳に登っています。一昨年の9月には2週間のヨーロッパ、アルプス、トレッキングで氷河を歩き、雪のプライトホルン(四、一六四m)の山頂に立つてきました。

(中・昭20卒 山下和彦)

○ミニ通信で早速TEL連絡を貰い、同期会での再会を約束し、卒業後初めて参加しました。古き友昔の友とは良いものでした。

(中・昭22卒 留奥 堯)

○昭和21年、24年まで母校の恩師で、公私にわたりお世話になった上松正一先生が昨年の3月14日に死去されました。85才でした。ご冥福をお祈り申しあげます。

(高・昭24卒 最勝寺哲也)

○昭和26年卒(テンガラモン会)も年ごとに退職者が増えてきました。年2回春秋のゴルフ大会、暮れの定例の集いを中心に何かと機会をとらえて、お互いに集まり語り合っ楽しんで一時を送るようになっています。

(高・昭26卒 酒匂昭男)

○平成4年に会社を退職してからコーラスに余念がありません。私の生きがいです。一昨年は全国大

会に入賞しました。今年もまた目ざして頑張っております。

(高・昭26卒 上別府良子)

○定年退職後再就職して元気で働いております。

(高・昭27卒 鮫島幹雄)

○修学旅行も無かった中学・高校の頃の勉強にと、南・中九州めぐり、あとは福岡県と島を残しています。他所の良さはそれぞれありますが、桜島がやはり最高です。自分の情熱の根源もここに有るといつも思っています。

(高・昭27卒 窪田正視)

○母は91才で加治木町で元気に暮らしています。この年令になるまで母が生きている事に感謝しております。出来る限り加治木に帰るようにして、第2の人生を元気に暮らしています。

(高・昭28卒 福園 保)

○永年厚生省に勤めていて、患者を診療できないペーパードライバーのような医師でした。退官後は自治医科大学に奉職し、現在は新しい国家資格である救急救命士の養成にたずさわっています。

(高・昭28卒 佃 篤彦)

○36年間余り勤務した教育出版を退職しました。まだ老後を楽しむには至りませんが、91才になる姑様との生活の調和を工夫しながら過ごしています。かつての同期生と指宿・屋久島・種子島への旅を楽しんでもおります。

(高・昭29卒 殿村圭子)

○第二の人生を有意義なものにするため準備中で、皆様のご指導

をお願いします。

(高・昭30卒 外山 勉)

○外資系の医薬品会社で、海外出張・国内出張と忙しく飛び回っています。元気で忙しいうちが華だと思っ頑張っています。

(高・昭32卒 市来研志)

○三三会(高10回卒)関東支部の同期会を館山で挙行し、大勢の参加があり盛会でした。

(高・昭33卒 穂満弘巳)

○昨年3月実母が亡くなりました。いつも総会には欠席して申し訳なく思っております。川内の方と「かごしま遊楽館」へ食事に行き、ミニあくまきとラーメンを買って帰りました。

(高・昭36卒 高橋ミチ子)

○5年ぶりの本庁勤務になりました。直後、犯罪史上類を見ないオウム一連の事件に遭遇し、奮起奮起の通年でした。被害にあわれた方のないことを祈念しております。

(高・昭42卒 藤井豊幸)

○KTS(鹿児島テレビ)東京支社勤務になりました。14年振りにして東京龍門会へ復帰しました。よろしくお願います。新納先生のご逝去を人一倍悲しんだ一人です。

(高・昭45卒 堂脇 悟)

○チビツ子ギヤング2人に毎日追いまわされクタクタ、すっかり痩せるどころか、ストレス発散のために食べてばかりで、太ってしまいました。それでも「カライモ」が食べたいナ。

(高・昭53卒 石川ひとみ)

○2年ほど加治木に帰っていない

ので、今年こそ娘を連れて行きたいと思っっています。モクモクと煙をあげる桜島を見て、娘はどんな顔をするでしょうか。それとも二才の子にはまだ判らないでしょうか。楽しみです。

(高・昭55卒 式村美加子)

恒例の同窓生による囲碁大会が去る1月18日(土)に三州倶楽部の和室で行なわれた。

Aクラス優勝

曾木主税 四段(中・昭17卒)

Bクラス優勝

松下兼末 初段(高・昭25卒)

伊藤亮一(中・昭16卒)
町田市鶴川2-6-2へ

塩満嘉夫(中・昭19卒)
堺市庭代台1-43-3へ

吉尾政廣(中・昭20卒)
足立区中川4-29-9-908へ

飛松謙哉(中・昭20卒)
松戸市五香南3-6-4へ

細山田文樹(高・昭24卒)
平塚市御殿4-10-4へ

米倉勝則(高・昭24卒)
草加市両新田西町5-5へ

羽田泰子(高・昭26卒)
千葉市花見川区幕張本郷7-27-18-203へ

野中田鶴子(高・昭26卒)
世田谷区深沢3-4-4

深沢ビル3Fへ

猪目 寛(高・昭29卒)

世田谷区南島山6-8-1へ

岩 子(高・昭32卒)

鹿児島市下荒田2-23-18へ

筒井清子(高・昭32卒)

市川市東菅野1-29-10へ

河野紀彦(高・昭34卒)

茅ヶ崎市本村1-8-22-302へ

高橋光弘(高・昭40卒)

鶴ヶ島市藤金802-37へ

白尾良一(高・昭41卒)

名古屋千種区鹿子町6-24

サンエステート鹿子310へ

内谷孝教(高・昭50卒)

葛飾区堀切2-17-14-406へ

来栖弘順(高・昭55卒)

市川市曾谷3-20-6へ

保坂江利子(高・昭56卒)

武蔵野市吉祥寺東町2-45-20-105へ

吉田智子(高・昭57卒)

江戸川区江戸川6-36-43-302へ

〈計報〉

○山元貞義(中・昭2卒)

○横山実夫(中・昭2卒)

○永福ミエ(女・昭5卒)

○吉川辰見(中・昭5卒)

○嘉手納良文(中・昭6卒)

○村田君子(女・昭7卒)

○川東政己(中・昭19卒)

○長野 孝(中・昭23卒)

○川島禧子(高・昭28卒)

○東京龍門会の事務局は、左記へ移転しました。

(住所) 川崎市幸区古川町50

今村電機(株)内

(電話) 044-522-8266